

君が輝く

令和2年7月27日発行第1号 研究推進部

一斉授業からの脱却！

30年後の共生社会を創る生徒を育てる！

東海中では※『学び合い』（二重かっこの学び合い）を基本理念として学習者主体の授業を軸に教育活動を推進していきます。

※『学び合い』とは、指導方法や指導技術ではなく、「一人も見捨てない教育の考え方」です。次号で、基本的な3つの考え方を紹介します。

『学び合い』の授業は、一斉授業とこんなふうに違います。

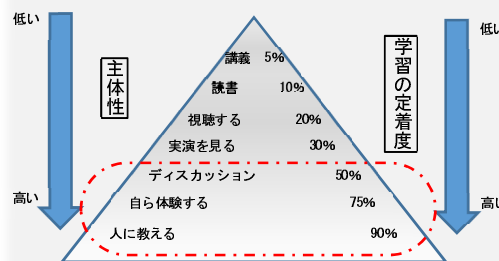
一斉授業では・・・

- ◎先生が生徒に教える。◎生徒は静かに座っていることが推奨される。
- ◎先生のペースで授業が進む。◎生徒は黙っている時間が多い。
- ◎わからない生徒がいても授業は進んでしまう。

『学び合い』の授業では・・・

- ◎先生は課題を与え、生徒は生徒同士で教え合い、学び合う。
- ◎生徒はお互いに教え合うために、立ち歩くことが推奨される。
- ◎生徒はそれぞれのペースで授業内容を学んでいける。
- ◎生徒がコミュニケーションを取り合う時間が多い。
- ◎わからない生徒は、わかるまで聞きに行くことができる。

“一斉授業”には、限界があります。
ラーニング・ピラミッド



岡崎市教育委員会から研究委嘱を受けました

これまでの本校の継続した授業研究の実績が認められ、岡崎市教育委員会から3年間の研究委嘱を受けました。

研究委嘱の内容

「自ら未来を切り拓く力を育む、
※個別最適化教育の創造」

令和4年度の研究発表会で、岡崎市内外に本校の充実した研究成果を発表できるよう、職員が一丸となって教育活動を推進します！

※この個別最適化を見据えて、本通信のタイトルを本校が長年大切にしてきた言葉「今この時、君は輝く」をモチーフとして「君が輝く」としました。

『学び合い』授業研究による成果

これまでの4年間の授業研究の成果として以下のものがあげられます。

- 授業への参加度のUP！ ○テストに見る学力のUP！
- コミュニケーションスキルのUP！
- 性別を越えて互いを尊重し合う姿の広がり！
- 他者や教材とのかかわり方を模索する姿の広がり！
- 「一人も見捨てない」という意識の醸成！

など

今年度はさらに・・・

- ◇ 教科の本質を求める授業実践の推進
- ◇ ※家庭・地域との共通理解のもとで、連携をしながらの授業研究の2点を目指します！

※そのために本校の研究についての情報を家庭・地域の方と共有したいと考え、本通信を発行しました。



男女で教え合ったり



タブレットを使ったり



必要な教具を選んだり



黒板で意見を広めたり

◎『学び合い』授業を通して、勉強以外にも大切なことを学びます。

- ・わからないときに「わからないから教えて」って言えるのは大切な力なんだ。
- ・自分の学び方は自分で責任をもとう。学び方を見直して、改善してみたよ。
- ・いろんな立場にたつて、互いに尊重し合う必要があるなあ。
- ・周りのみんなと折り合いをつけながら活動するにはどうすればよいだろう。